

## 本号のテーマ：「生涯学習の楽しさ」

## 1 下手でいい、下手がいい絵手紙

この絵手紙のキャッチフレーズにひかれて、野沢公民館の絵手紙教室に通い始めました。コロナ禍で6月末からの開講でした。今まで仕事が趣味といえるくらい休みの日でも仕事のことが頭から離れなかった自分。この4月から毎日が日曜日に近い状況となり、前から興味があった絵手紙に挑戦することにしました。

6月末の初めての絵手紙教室。周りは女性ばかりでした。緊張したけれど先生や周りの方が親切に絵手紙の作り方を教えてくださり、緊張もほぐれ絵手紙作りに打ち込むことができました。出来上がった作品を見合いましたが、先生が一人ひとりの作品の良さを認めてくださり、初めての自分の作品も褒めてくださったので、安心するとともに絵手紙作りへの意欲が湧いてきました。ほめられることのうれしさを実感しました。



月に1回の絵手紙教室ですが、先生が描いてきてくださった絵手紙を模倣することから始めています。家に咲いていたアジサイを自分流に絵手紙にしようとしたのですが、はがきの中にどう描けばいいのか構図を考えることが難しかったです。先生のお手本は、その構図が時にはダイナミックに、時には繊細で、それぞれに味わいがあり毎回楽しみです。絵手紙は絵に言葉を添えます。土用丑の日にちなんだ先生の絵手紙は、うな重の絵とともに「うなぎ高ければ不満 安ければ不安」という言葉が添えられていました。おいしそうなうな重とともに機知に富んだ言葉に魅せられました。

毎月の教室で作った絵手紙を定期的にお世話になっている方や県内に住む娘に送っています。喜ばれ飾ってもらっているので、自分にとって毎月の教室の励みになっています。11月に開催された佐久市総合文化祭に初めて出品しました。「初めてにしてはよくできているよ。」と声をかけていただき、とてもうれしかったです。どんな題材を絵手紙にしようかなと生活の中で見つけるおもしろさがあり、絵手紙作りを楽しんでいます。

## 2 初心者にお勧めデジタルカメラ講座

9月と10月に開催された東公民館と望月公民館の初心者を対象にしたデジタルカメラ講座に参加しました。講師の先生から写真撮影の構図の取り方や絞り、シャッター速度などカメラの基礎知識を座学で教えていただいた後、東公民館では家畜改良センター茨城牧場長野支場で、望月公民館では女神湖周辺で撮影会を行い、後日講師の先生からそれぞれ参加者が撮影した写真について講評をいただく内容でした。

家畜改良センター茨城牧場長野支場は、桜の季節に何回も行ったことがありますが、紅葉の季節は初めてでした。しかも周辺の収穫前のそばの花、道路沿いに咲くコスモス、杉並木など、車で何回も素通りしていましたが、カメラ片手に歩いてみると今まで見過ごしていた佐久の自然の美しい風景に改めて魅せられました。座学で教えていただいた構図の取り方に注意しながら、初秋の澄み切った佐久の青空、大空を撮影しました。東京で生活していたけれど退職後佐久市内に住居を構えた方と親しくなり、「佐久はいいですね。東京でこういう講座に参加すると1回で5000円はかかるけど、佐久は材料費だけ。去年もこの講座に参加し、他にも自然探索講座や歴史講座に参加しています。佐久に来て本当に良かったと思っています。」何とも言えないうれしいお話を聞くことができました。それぞれが撮影した写真の中から自分が気に入った写真を3枚選びましたが、3枚とも講師の先生から構図の取り方をほめていただきました。うれしくて自信が湧いてきました。



望月公民館でのデジタルカメラ講座は、講師の先生が今ではほとんど使われないフィルムカメラを使ってシャッター速度の仕組みや絞り、露出等について教えてくださったので、東公民館の講座で学んだことに更にカメラの基礎知識が積み重ねられ、理解が深まりました。女神湖には市のマイクロバスで向かいました。参加者はコロナ禍の中絞られ男性4名、女性2名の6名でしたが、密にならないよう安全にも配慮した市のバスの配車はとてありがたかったです。

デジタルカメラ講座は、10月30日(金)に行われました。紅葉がもう遅いかなと心配していましたが、撮影会にふさわしい青空にも恵まれ、紅葉もまだ十分きれいでした。撮影をしながら、先生から露出補正の仕方を教えていただきました。一眼レフのカメラを購入してもう20年以上経ちますが、カメラに付いている機能は全くとっていいほど使いこなせていませんでした。先生から露出補正のやり方とどういう場合に露出補正をするのか、実際の撮影場所で教えていただいたおかげで、今まで全く知らなかった露出補正ができるようになりました。天候にも恵まれ、東公民館のデジタルカメラ講座で得た自信があったので気持ちよく撮影しました。その数145枚でした。その中から2枚先生がA4サイズで印刷してきてくださるといふことで、次のデジタルカメラ講座がとても楽しみでした。

11月20日(金)の2回目のデジタルカメラ教室、先生は6名や自分が撮影した中から選んだ写真をスライドショーにしてプロジェクターで投影して見せてくださいました。BGMも付いていて、美しい写真の世界に引き込まれました。その後、一人当たり約20枚の写真を選び講評してくださいました。1枚毎に写真の良さを認めてくださりながら、パソコン上の写真を画像処理ソフトを使って unnecessaryな部分を切り取り、こういう構図の写真にしたらどうでしょうと言葉だけではなく視覚も使って示してくださいましたので、具体的でとてもわかりやすかったです。なるほどと思いました。他の方や先生、館長さんが撮影された写真を見て「この写真いいなあ。」と心動かされた物がありました。自分にはない構図の取り方で、同じ場所で撮影しながら撮影したい対象物、構図の取り方の違いに驚き、とても勉強になりました。中でも自分が一番心に残った写真は、一眼レフではなくコンパクトデジタルカメラで女性が撮影したモミジの写真です。右端に堂々としたモミジの幹があり、左側に向かって真っ赤なモミジがまるで生きているかのように配置された写真です。感性の素晴らしさを感じました。家に帰って改めて自分が撮影した145枚の写真を見直してみましたが、「平凡だな。つまらない写真だな。」と自分の感性の貧弱さにため息が出ました。心惹かれる写真はありませんでした。しかし、他の方の写真を見て、どういう写真がいいのか、どういう写真が人の心を打つのか、おぼろげながら少しわかったような気がしました。また、先生から絞り優先のAモードでの撮影の仕方を教えていただきました。今までカメラにお任せの自動モードで撮影していましたが、この講座に参加して絞りの意味が分かり、Aモードで撮影することにより、背景をぼかした写真を撮影できるようになりました。



この二つのデジタルカメラ講座はお勧めです。自然の美しさに触れられる撮影会があり、他の方の写真から学ぶことができ、何より講師の先生が丁寧にカメラの機能や撮影のポイントを教えてくださいました。その物をどうやったらより美しく撮影できるのか、今までの自分にはなかった新たな視点で写真撮影を楽しんでいきたいです。

### 3 佐久市の生涯学習と公民館についてのアンケートのお願い

佐久市教育委員会生涯学習課では、市民の皆さんから生涯学習活動の様子やニーズ、公民館の利用状況などをお聞きし、これからの学習メニュー作りや利用しやすい公民館を目指すためにアンケートを実施しています。「いろいろやっています！」という方だけでなく、「公民館を使ったことがないなあ」という方からもいろいろな意見をお聞きしたいとの思いからのアンケートです。絵手紙教室やデジタルカメラ講座への参加を通して、生涯学習の楽しさ、魅力を感じています。この他にも「100歳まで歩く！ 筋肉づくり」(野沢公民

館)、「切り絵講座一年賀状編一」(浅科公民館)、「チーズの日チーズセミナー」(浅間公民館)、「家族の笑顔が一番一しあわせクッキング一」(望月公民館)に参加しました。12月は「マジック教室」(野沢公民館)、「しめ縄づくり」(臼田公民館)に参加します。「次は公民館でどんな講座があるのかな。」と毎月佐久市広報の「公民館お誘いカレンダー」を見るのがとても楽しみです。

魅力いっぱいの講座ですが、いろいろな講座に参加して、「男性の参加がもっと多くなればいいな。」という願いがあります。今回アンケートのことを知り、アンケートに「男の料理教室を開いてほしいです。」という要望を出してみました。アンケートは、全部で14問あり、そのうち生涯学習に関する意見や公民館でやってもらいたい講座を記入する質問がありますが、多くは当てはまる項目をチェックする質問で、約5分あればアンケートが終了します。アンケートの実施は、次の通りです。

(1)アンケートの期間 令和2年11月11日(水)～令和3年1月3日(日)

(2)アンケートの方法

①スマホから：右のQRコードを読み取る

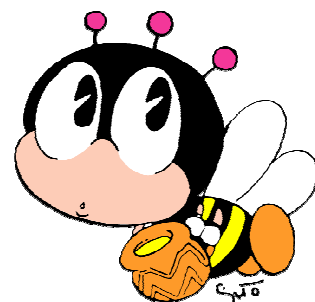


②インターネットから：佐久市ホームページ → 子育て・教育 → 生涯学習課 → 生涯学習及び公民館に関するアンケートについて

(3)その他 インターネット環境がない方は、紙によるアンケート方法があります。

佐久市役所 生涯学習課(電話 0267-62-0671)へお問い合わせください。

佐久市にお住まいでない方もアンケートに参加していただけます。その地域での生涯学習の取り組みをお知らせください。佐久市の更なる生涯学習や公民館活動の充実のためにより多くの皆さんのアンケートへのご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



生涯学習マスコット マナビィ